

キイロサナエ

Asiagomphus pryeri

兵庫県：A

環境省：準絶滅危惧（NT）

種の概要

腹長42～49mm、後翅長37～43mm程度。体色は黒色で、胸部および腹部に黄色斑がある。腹部第7節までは正中線に沿って黄色条もしくは黄色斑がある。平地から丘陵地の砂泥底の河川中流域やそれに流入する素掘りの水路などに生息する。成虫は5月～8月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、西宮市、豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

BランクからAランクに変更

最近新産地を発見することがほとんどなくなった種である。既産地からは姿を消していることがほとんどで、生息地の減少が著しい。この10年間で2カ所でしか生息が報告されていない。丹念な調査を行えばまだ確認できる可能性は残されているが、現時点での確認生息地数が非常に少ないため、今回はAランクとした。

保護上の留意点

生息地の素掘りの水路を維持する。